

2020年1月9日

各 位

会 社 名 株式会社アルバイトタイムス
代表者名 代表取締役社長 垣内 康晴
(コード：2341)
問合せ先 取締役 堀田 欣弘
(TEL. 03-3254-2501)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年1月9日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2019年4月11日に公表いたしました2020年2月期（2019年3月1日～2020年2月29日）の連結業績予想を修正することといたしましたのでお知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正（2019年3月1日～2020年2月29日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	5,090	484	483	340	12.89
今回修正予想（B）	4,565	180	183	151	5.73
増 減 額（B－A）	△525	△304	△299	△189	—
増 減 率（％）	△10.3%	△62.8%	△62.0%	△55.5%	—
（参考）前期連結実績 （2019年2月期）	5,469	554	564	366	13.88

2. 修正の理由

（1）売上高

連結売上高においては、当初予想数値を525百万円下回る4,565百万円となる見通しとなりました。当初予想数値下回った主たる要因は以下のとおりであります。

情報提供事業において、当社主力商品である無料求人情報誌『DOMO（ドモ）』の売上高が、期初想定していた売上高と比較し300百万円超の乖離が発生する見込みです。これは採用に関するサービスが多様化し、紙媒体メディアからWEBメディア、アグリゲーター型、サブスクリプション型等のサービスが大都市圏だけでなく、当社が基盤としている地方都市にも浸透し始めたことで、従来よりも競合環境が想定以上に激化したことにより取扱件数や販売単価が下落したことが主な要因です。当社においてもサブスクリプション型課金モデルで採用管理システムを顧客に提供する『ワガシャ de DOMO』廉価版を投入しましたが、『DOMO』の売上減少を補うまでには至らず、情報提供事業の売上高は期初想定売上高を450百万円下回る見込みです。

販売促進事業において、期初想定していた売上高と比較し76百万円下回る見込みです。主たるサービスであるフリーペーパー取次事業における大口顧客の休刊により取次自体が減少したことが主な要因です。

当社を取り巻く環境は従来よりも厳しい状況ではありますが、先述の『ワガシャ de DOMO』の販売は堅調に

進捗しており、今後においては当社が基盤としている静岡県、愛知県を主とした東海エリアにおいて更なる拡販を行い、主力商品である『DOMO』に代わる商材としてお客様の採用ニーズに対応していく所存です。

(2) 営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益

営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益については、紙媒体に係る印刷費用や紙媒体を市場に流通させるコスト、また、広告販促費等のコストを期初予想数値と比較し130百万円削減したものの、売上高減少の影響が大きく、営業利益は当初予想数値と比較し304百万円減の180百万円、経常利益は同299百万円減の183百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は子会社の吸収合併により繰越欠損金を引き継ぐ見込みであるため税金費用が減少し、同189百万円減の151百万円となる見通しです。

なお、今回の業績予想の修正に伴う2020年2月期の期末配当予想の修正の変更はありません。

(注) 本資料に記載されている業績予想数値等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいているものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上